



「子どもたちの笑顔のために、手を取り合って」

校長 藤山 由仁

新しい学年がスタートしてあっという間に3ヶ月が過ぎようとしています。学校にも慣れてきた頃でしょうか。4月に入学した1年生も、学校にずいぶん慣れてきて、楽しそうに過ごしております。夏休みまであと少し、充実した夏休みを送ることができるように、1学期のうちにしっかりとまとめをして、気持ちよく夏休みを迎えたいですね。

近年、社会全体で「カスタマーハラスメント(カスハラ)」という言葉が耳にすることが増えてきました。これは本来の御意見や御要望の枠を超えた、過剰で不適切な要求や言動のことを指します。学校という場においても、時に教職員がそのような場面にさらされることもあるのも事実です。

私たち教職員は、保護者の皆様からいただく御意見や御要望をしっかりと受け止め、子どもたちの成長のために何ができるかを常に考えながら、日々真剣に子どもたちと向き合っています。だからこそ、ぜひこれからも、学校と保護者が、互いに、信頼し合い敬意をもって、連携していきましょう。それが何よりも子どもたちの成長を支えることにつながります。本校では、約80名の教職員が、毎日、子どもたちのために何ができるかということを考え、学校は子どもたちの学びと安全を守る場であるという使命感をもち、真摯に職務にあたっています。子どもたちの笑顔のために、これからも手を取り合って進んでいければと思います。今後とも御協力のほどお願い申し上げます。

7月は、学習面と生活面、まとめの時期となります。今までの学習・生活を振り返り、2学期にさらに成長できるように指導してまいります。保護者の皆様も、体調には御留意されお過ごしください。

赤城林間学校について

5年生学年主任

8月18日(月)から20日(水)の2泊3日で、群馬県の国立赤城青少年交流の家で様々な体験学習を経験する予定です。酷暑が予想されるので、体調管理には細心の注意を払って、活動を進めてまいります。

赤城山の麓にある広大な施設で、子どもたちにとってどんな活動が有意義かを学年で相談しながら計画を立てています。宿泊中は、キャンプファイヤー、レクリエーションなど、大自然の中でこそ味わえる活動ができたらと考えています。また、群馬県にある世界遺産の富岡製糸場を見学する予定です。

昨年度のセカンドスクール学習での経験を活かし、今回の宿泊行事でもたくさんの心のお土産をもって帰ってきたいと思います。

研究について

研究主任

本校は、東京都体育健康推進校として児童の体育への取り組み方や運動時間の確保、健康的な生活習慣の定着について研究をすすめています。

体育が好きな児童も苦手な児童も、共に「楽しい」と学ぶことができる授業を考え、長い間「適度な運動が好き」と思えるような礎を築いていきたいと思っています。本年度は、「自分やチームを理解し、友達と学び合える児童の育成」を目指し、取り分け、器械運動やゲーム領域の授業について力を入れていきます。

楽しく運動することができるよう、生活習慣が体に及ぼす影響についても考えさせ、よりよい活動ができるようにしていきます。学校と家庭と協力して健康な児童を育成していきましょう。